

91 部落史関係文献目録

- ・重松正史 政治運動と部落
- ・黒川みどり 水平社運動における階級的連帯の再検討—「異化」と「同化」の視点から
- ・秦 重雄 <差別小説>「特殊部落」を検証する
- ・渡邊巳三郎 灰谷健次郎『笑いの影』の差別問題
- ・桑原 律 高橋和美作『貧者の舞』と「文学評論」のあり方

部落問題研究145 (1998年12月)

- ・吉井敏幸 中世～近世の三昧聖の組織と村落
- ・杉本弘幸 研究ノート／戦前期京都社会政策の形成過程

部落問題研究146 (1999年3月)

- ・真田 是 部落問題解決への波動
- ・塚田 孝 前近代身分制研究の動向
- ・村井良介 三浦圭一『日本中世賤民史の研究』を読んで
- ・間瀬久美子 脇田修『河原巻物の世界』
- ・宮地正人 竹永三男『近代日本の地域社会と部落問題』

<へ>

舂松歴史資料館だより012 (1998年9月)

- ・「真の姿に迫る／阪田三吉特別展一人、出会い」
- ・「新展示物紹介／見学のとめとして展示」
- ・「資料集『反骨の棋士 阪田三吉』希望者に実費で頒布」

舂松歴史資料館だより014 (1999年3月)

- ・「ドンデンカッカ」って？ニシ子おばちゃんのお話から

舂松歴史資料館だより015 (1999年3月)

- ・「心とからだの健康に！人権文化サンサクまっぷ『風』」
- ・「人権ネット・ワークーさあ出かけよう」
- ・「展示物紹介／今も残る因習・風習Ⅰ」

<ミ>

水と村の歴史013(信州農村開発史研究所、1998年7月)

- ・吉田正信 信州同仁会青年連盟の少年団活動について
- ・佐藤純一郎 桑山藩の年貢の変遷一年貢割付状の分析から
- ・五島敏芳 近世後期の狐憑きと百姓—信州佐久郡五郎兵衛新田村の一事例の紹介から
- ・斎藤洋一 信濃の近世部落の人々の移住—佐久地方の事例を中心に
- ・友常 勉 新政反対—揆研究のための研究ノート—揆と身体表象、掃除場慣行などの論点をめぐって

<モ>

もやい—ながさき部落解放研究037 (1998年10月)

<第17回九州地区部落解放史研究集会／なぜ、部落差別は残ったか—「解放令」前後をめぐる状況>

- ・石瀧豊美 「横田日記」から復権同盟にみる明治初年の福岡
- ・竹森健二郎 解放令前後—福岡県
- ・樋口輝幸 解放令前後—熊本県
- ・一法師英昭 解放令前後—大分県
- ・稲森健蔵 解放令前後—宮崎県
- ・阿南童幸・梅崎純司 解放令前後—長崎県
- ・中村久子 解放令前後—佐賀県
- ・「江戸時代末から明治初期に至る九州の部落史資料年表 (1860年～1977年)」

もやい—ながさき部落解放研究038 (1999年3月)

- ・資料紹介チーム 『犯科帳』史料紹介[天明三年(1783)～天明八年(1788)] 部落史関連記事

- ・松下志朗 宮崎県の部落史研究の現状と課題II日向部落史研究の課題
- ・石瀧豊美 近年の『部落解放史・ふくおか』を読み直す
- ・「資料／九州各県、近世部落史研究論文目録」
- ・林 久良 史料紹介／「高木村ノ製鞆業（『花田村誌』より）」
- ・古文書学習会 史料紹介／近世民衆史の泉(34)
- ・鎌 裕介 本の紹介／『部落史発見』
- ・和田恵治 大福吉備の再建期解放運動
部落解放史・ふくおか092（1998年12月）
- ・白石義則 戦後社会科教科書と同和教育
- ・石瀧豊美 復権同盟と九州平民会一部
落史の空白を埋める
- ・森山沾一 戦後同和教育運動の人びと
(5)私の同和教育との関わりと願い—陶
山高度さんに聞く
部落解放・人権和歌山001（1998年8月）
- ・羽江忠彦 「六曜」迷信と部落差別を考
える
部落解放なら010（1998年10月）
- ・〈口絵〉解放委奈良県連合会第6回大会
に松本治一郎委員長を迎えて
- ・野口道彦 「部落民」概念の再構築の可
能性
- ・片岡 智 奈良における「部落史」再検
討についての所感—後ずさりする「部落
史」
〈小特集／敗戦前後奈良の部落問題〉（そ
の1）
- ・「戦後部落史の自立—小特集を組むにあ
たって」
- ・渡辺俊雄 資料紹介／部落解放奈良県
地方委員会『部落解放運動当面の諸問
題』
- ・和田恵治 大福吉備の再建期解放運動
- ・金井英樹 差別と排除を放置する言説
批判
- ・編集部 平成の阪神猫騒動関係資料(続
集)
部落解放なら011（1999年3月）
- ・（事務局）口絵／荊冠友の会結成總會寄
せ書き
〈特集／ケガレの歴史社会〉
- ・松井 章 考古学からみた犬
- ・和田 萃 大藤原京と神社・山陵
- ・辻本正教 「癩」と「懶（ものぐさ）」—
『御伽草子』の世界から
- ・小谷汪之 穢れと賤民差別との関連に
ついての原理的考察
- ・波平恵美子 メアリー・ダグラス書『汚
穢と禁忌』
- ・田中克彦 「トサツ」についての予備的
考察
部落・人権ノート001(金沢B研究会)(1998
年4月)
- ・梶川 修 地域における部落史再考
- ・田中嘉男 国家に拉致された少年たち
—満州開拓青年義勇隊
部落問題—調査と研究135（1998年8月）
- ・竹本豊本 商人と賤民
部落問題—調査と研究137（1998年12月）
- ・寺見敬三 『渋染一揆・美作血税一揆の
周辺』第11回地方出版文化功労賞受賞
部落問題研究143（1998年5月）
- ・津田 潔 小説『破戒』・私注
- ・竹末 朝 日本近代史研究における洞
部落移転問題の位置—奈良県高市郡白
檀村洞部落移転に関する史料紹介
- ・手島一雄 書評／峯岸賢太郎『近世被差
別民史の研究』
部落問題研究144（1998年6月）
- ・東上高志 部落問題研究所の50年と部
落問題研究
- ・吉井克信 近世畿内三昧聖の宗教的側
面と信仰
- ・藤本清二郎 近世おんぼう身分と村落

- 容子「水平社運動における「アナ派」について」
- ・(事務局)研究会報告/国際身分制研究会/三宅正彦「ヨーロッパの身分差別—「賤民」差別をめぐって」
- 部落解放研究124 (1998年10月)
- ・山下隆章 近世讃岐における被差別民史の研究—高松藩を中心にして
 - ・のびしょうじ 史料紹介「木津村文書」/大坂渡辺村の空間構成(下)
 - ・八箇亮仁 書評/安川寿之輔編『日本近代教育と差別』
 - ・吉田栄治郎 書評/渡辺俊雄『部落史がわかる』
 - ・渡辺俊雄 本の紹介/朝治武ほか編『脱常織の部落問題』
- 部落解放研究125 (1998年12月)
- ・平井雄一郎 書評/原田敬一『日本近代都市史研究』
- 部落解放研究126 (1999年2月)
- ・岩井健次 書評/藤野豊『日本ファシズムと優生思想』
- 部落解放研究くまもと035 (1998年3月)
- <シンポジウム/部落史研究と「同和」教育の豊かな結合をめざして>
- ・松下志朗 近世政治起源説について—研究者の立場から
 - ・山下信哉 部落史・部落問題学習について—教育現場の立場から
 - ・羽江忠彦 部落史の見直しと部落史学習の見直しをめぐるノート—「つくられた差別」(熊本県同教編『きずな』小学校高学年)を作成して
 - ・大塚正文 村境の不用地への強制移転の実態—熊本県の場合
 - ・羽江忠彦 資料/ハンセン病(3)
- 部落解放研究くまもと036 (1998年10月)
- ・由布雅夫 「らい予防法」廃止の歴史
 - ・羽江忠彦 資料/ハンセン病(4)
- <シンポジウム/部落史研究と「同和」教育の豊かな結合をめざして(2)>
- ・松下志朗・山下信哉・羽江忠彦ほか「討論」
- 部落解放史・ふくおか089 (1998年3月)
- <特集:福岡市西域の盆行事>
- ・民俗・伝承を記録する会 福博西効の盆綱引き・盆押し行事—西区域ノ原・早良区西脇を中心に
 - ・柳川毅・原田雅秀・山口裕之 盆行事の調査に関わって—地域の教材化をめぐって考えたこと
- <参考資料>福岡市無形文化財指定「田隈の盆押し・盆綱引き」
- ・竹森健二郎 近世、西脇のあゆみ
 - ・金山登山 旧早良郡西脇の社会運動のあゆみ—大正・昭和初期を中心に
 - ・かとうよういち 本の紹介/新谷恭明『尋常中学校の成立』
- 部落解放史・ふくおか090 (1998年6月)
- ・鷲山智英 研究ノート/願照寺のこと
 - ・古文書学習会 史料紹介/近世民衆史の泉(33)
 - ・阿南重幸 本の紹介/大阪人権博物館編『戦後部落問題の具体像』
- 部落解放史・ふくおか091 (1998年9月)
- <特集/九州部落史研究の今後を探る>
- ・松下志朗・芦刈政治・稲森建蔵・和真一郎・阿南重幸・中村久子・一法師英昭・樋口輝幸・竹森健二郎(司会) 座談会/九州部落史研究の今後を展望する
 - ・一法師英昭 大分の部落史研究の現状と課題
 - ・樋口輝幸 熊本の部落史研究の現状と課題
 - ・中村久子 佐賀県における部落史の現状と課題
 - ・阿南重幸 長崎における近世部落史研究の現状と課題
 - ・稲森建蔵 宮崎県の部落史研究の現状と課題 I 『部落解放史宮崎』にみる

- 一門付芸「ちょんがれ」の歴史と現代(5)
- ・光井敏夫 本の紹介／奥田均『人権のステージ』
- 部落解放447 (1999年1月)
- ・東 栄蔵 大江磯吉の生涯と思想
 - ・川元祥一 連載／社会風刺と自由空間 一門付芸「ちょんがれ」の歴史と現代(6)
- 部落解放448 (1999年1月)
- ・村越末男 水平社宣言の思想と現代
 - ・朝治 武 水平運動史と現代
 - ・渡辺俊雄 部落史ショート・ストーリー
 - ・森田康夫 賤視観念の歴史的形成
 - ・乾 武俊 被差別部落の文化その伝承と再創造
 - ・三宅都子 被差別部落の労働と文化—大阪の太鼓づくりから
- 部落解放449 (1999年2月)
- ・辻本正教 部落差別とケガレ観
 - ・(柳) 本の紹介／網野善彦・宮田登『歴史の中で語られてこなかったこと』
 - ・(俊) 本の紹介／沖浦和光『インドネシアの寅さん』
- 部落解放450 (1999年2月)
- ・野田龍三 石川県の被差別部落の特徴
 - ・梶川 修 加賀藩における「被差別民」について
 - ・佐藤泰治 奥山荘非人・ノート
- 部落解放451 <特集／多様な近世部落像> (1999年3月)
- ・中尾健次 部落史の“普遍性”にむけて—部落史研究と地域史の課題
 - ・石田 貞 水と闘いつづけた人々—武州下吉見領における長吏・「非人」の役割と仕事
 - ・和田 勉 農民として生きた人々—北伊勢の例をとおして
 - ・山下隆章 ほんとうに貧しく、きびしい生活だったか—讃岐国高松藩における「えた」身分の生業・生活から
 - ・竹森健二郎 衣・食にみる日常生活—福岡藩の事例から
- <食肉をめぐる文化と差別>
- ・全横浜屠場労組 差別的価値観の転換をめざして—横浜屠場における差別との闘い
 - ・小島伸豊 食肉の歴史—被差別部落が培った技術と文化
 - ・川元祥一 連載／社会風刺と自由空間 一門付芸「ちょんがれ」の歴史と現代(7)
 - ・小島伸豊 本の紹介／のびしょうじ『食肉の部落史』
- 部落解放研究121 (1998年4月)
- ・乾 武俊 被差別部落伝承文化論序説(5)被差別の側からみた「ケガレ」と「ハレ」
 - ・大畑正弘 多事争論／歴史教育論争についての中間報告
 - ・小田康徳 書評／北崎豊二『近代大阪と部落問題』
- 部落解放研究122 (1998年6月)
- ・布引敏雄 部落史の窓(15)焰硝製造と幕末の被差別部落民
- 部落解放研究123 <特集／今日の中世部落史と民俗伝承研究> (1998年8月)
- ・宇那木隆司 中世の「部落史」研究から「身分制」研究への転回
 - ・政岡伸洋 差別の論理と被差別部落の実態—民俗伝承研究の現状と課題
 - ・布引敏雄 姫井伊介の協同組合主義—昭和恐慌期における社会事業家の無自覚的「転向」
 - ・井桁 碧 書評／門馬幸夫『差別と穢れの宗教研究』
 - ・中里亜夫 書評／瀧尾英二編『戦後の歴史研究と朝鮮認識』
 - ・藤井寿一 書評／藤本清二郎『近世賤民制と地域社会』
 - ・(事務局) 研究会報告／前近代史・近現代史部会合同例会／関口寛「初期水平運動における「政治文化」について」／三原

それに方法

部落638 (1998年9月)

- ・井ヶ田良治・川端俊英・谷口勝己・中川信義(司会)・東上高志(構成) 座談会／どういふ五十年だったか

部落639 (1998年10月)

- ・井ヶ田良治 歴史のなかで人間らしさを考える

部落解放436 (1998年4月)

- ・沖浦和光・宮田登 対談／ケガレと差別をめぐって(下)
- ・阿南重幸 本の紹介／大阪人権博物館編『戦後部落問題の具体像』

部落解放437 <水平社歴史館オープン> (1998年5月)

- ・グラビア 水平社歴史館オープン
- ・川口正志 人権情報の発信基地として
- ・駒井忠之 ようこそ水平社歴史館へ
- ・吉田栄治郎 雲間の曙光から満天下の輝き—水平社歴史館の展示から
- ・金井英樹 <よき日>へのひろがり—水平社歴史館展示史料を中心に
- ・朝治武・守安敏司 対談／所蔵資料からみた戦時下の水平社運動
- ・神 剛司 展示にとりくんで
- ・師岡佑行 部落史研究における林屋史学の位置
- ・生瀬克己 本の紹介／中尾健次『江戸の大道芸人』
- ・(柳)本の紹介／佐藤文明『「日の丸」「君が代」「元号」考察』

部落解放438 (1998年6月)

- ・鎌田 慧 ルポルタージュ／機械化と熟練のはざままで—大阪市南港市場ではたらく人たち(上)
- ・川元祥一 連載／社会風刺と自由空間—門付芸「ちょんがれ」の歴史と現代(1)
- ・(碧)本の紹介／門馬幸夫『差別と穢れの宗教研究』

部落解放439 (1998年7月)

- ・グラビア 開館した水平社歴史館
- ・鎌田 慧 ルポルタージュ／あたらしい時代の食肉市場—大阪市南港市場ではたらく人たち(下)

- ・川元祥一 連載／社会風刺と自由空間—門付芸「ちょんがれ」の歴史と現代(2)
- ・朝治 武 本の紹介／渡辺俊雄『部落史がわかる』

部落解放442 (1998年8月)

- ・川元祥一 連載／社会風刺と自由空間—門付芸「ちょんがれ」の歴史と現代(3)
- ・(幸)本の紹介／『論集 長崎の部落史と部落問題』

部落解放443 (1998年9月)

- ・川元祥一 徳島の門付芸「えびす舞」—人権文化として復権
- ・辻本一英 「えびす舞」の蘇生を通して人権文化を—徳島県・芝原の青年たちの取り組み
- ・乾 武俊 本の紹介／川元祥一『旅芸人のフォークロア』
- ・(渡)本の紹介／福岡市同研編『部落史発見』

部落解放444 (1998年10月)

- ・川元祥一 連載／社会風刺と自由空間—門付芸「ちょんがれ」の歴史と現代(4)
- ・吉村智博・金井宏司 戦後を聞く(5)戦後高知の同和教育運動—谷口照義さん
- ・若宮啓文 本の紹介／中山英一『被差別部落の暮らしから』
- ・(永)本の紹介／鎌田慧『ドキュメント 屠場』

部落解放445 (1998年11月)

- ・(渡)本の紹介／『部落史を読む』
- ・(柳)本の紹介／『国際身分制研究会中間報告書』
- ・(Ck) 本の紹介／『近代都市のあり方と部落問題』

部落解放446 (1998年12月)

- ・川元祥一 連載／社会風刺と自由空間

<ス>

水平社歴史館研究紀要001 (1999年3月)

- ・吉田栄治郎 坂本清作と柏原北方の小学校分離反対闘争—もう一つの途の始まり
- ・朝治 武 戦時下全国水平社と新生運動

<ト>

同和教育440 (全国同和教育研究協議会、1998年11月)

- ・渡辺俊雄 部落史がわかる、とは

<ヒ>

ヒューマンライツ123 (1998年6月)

- ・塩見鮮一郎 部落の歴史あれこれ(1)青春と美酒
- ・守安敏司 人権文化の花開く—水平社歴史館誕生

ヒューマンライツ124 (1998年7月)

- ・塩見鮮一郎 部落の歴史あれこれ(2)特権と過誤
- ・「インタビュー／「反骨の人」阪田三吉の心—阪田俊哉さん(舳松歴史資料館)に聞く」
- ・「部落史研究の交流と新たな展開」

ヒューマンライツ125 (1998年8月)

- ・塩見鮮一郎 部落の歴史あれこれ(3)早熟と早世

ヒューマンライツ126 (1998年9月)

- ・塩見鮮一郎 部落の歴史あれこれ(4)早熟と早世

ヒューマンライツ127 (1998年10月)

- ・塩見鮮一郎 部落の歴史あれこれ(5)維新と肉食

ヒューマンライツ128 (1998年11月)

- ・塩見鮮一郎 部落の歴史あれこれ(6)廃仏と尊神
- ・渡辺俊雄 図書紹介／自由な発想こそ歴史の鍵—『部落史を読む』のことなど
- ・「大阪人権博物館だより」

ヒューマンライツ129 (1998年12月)

- ・塩見鮮一郎 部落の歴史あれこれ(7)飢饉と馬食

ヒューマンライツ130 (1999年1月)

- ・塩見鮮一郎 部落の歴史あれこれ(8)観察と伝説

ヒューマンライツ131 (1999年2月)

- ・塩見鮮一郎 部落の歴史あれこれ(9)生殖と経済

ヒューマンライツ132 (1999年3月)

- ・塩見鮮一郎 部落の歴史あれこれ(10)解放と隠蔽

・「大阪人権博物館だより／第46回特別展「髪的身分史」

ひょうご部落解放083 (1998年9月)

- ・鎌田 慧 連載・ルポルターージュ 部落産業／姫路の皮革産業(4)

ひょうご部落解放086 (1999年3月)

- ・酒井 一 兵庫県の部落史研究に寄せて
- ・原田京子 丹波国における被差別部落の「別村」闘争について
- ・藤原 豊 「丹波国下大久保村穢多改宗一件」について
- ・安達五男 明治初年の戸籍についての研究—「辛未戸籍」と「壬申戸籍」の分析を中心に(2)
- ・永瀬康博 豚と牛の脳漿覚え書き—賦役令の中の脳—合五夕をめぐって
- ・大槻 守 資料／姫路地域戦後同和教育史年表
- ・高木伸夫 資料／兵庫に於ける細民住居視察報告

<フ>

部落632 (1998年4月)

- ・加藤西郷「差別戒名・過去帳」再調査について

部落635 (1998年7月)

- ・岩井忠熊「部落史」の提起と歴史研究

部落636 (1998年8月)

- ・田所顕平 中世社会のとらえ方と授業、

97 部落史関係文献目録

- ・仲林弘次 飢饉と「間引き」、そして被差別部落
 - ・——— 人間・中上健次—松根久雄さんを囲んで(1)
 - ・小坂正一 私の部落問題(3)雑誌『陽気』差別記事事件
 - ・辻本正教 穢れと清め(4)
 - ・守安敏司 水平社創立者と今田丑松との関係について(1)
- 差別とたたかう文化007 (1998年1月)
- ・周 誠一 泉州南之郡鳥羽の森 嶋一 貝塚市東遺跡フィールドワークに参加して
- 〈シ〉
- 滋賀の部落290 (1999年2月)
- ・谷口勝巳 続「日野町豊田輯睦会」資料紹介にあたって
- 滋賀の部落291 (1999年2月)
- ・水谷孝信 部落問題の歴史認識とは何か
- しこく011(四国部落史研究協議会、1998年8月)
- ・三好昭一郎 さらなる前進に向けて
 - ・宇賀 平 故美馬敏男先生のこと
 - ・山下隆章 近世高松藩の被差別部落史
 - ・武知忠義 賀川豊彦と部落問題
 - ・増田智一 生誕百年を迎える—「岡崎精郎と部落問題」吉田文茂報告に寄せて—人物研究を前進させよう
- しんかんあんない061 (1998年4月)
- ・斎藤洋一 連載／一枚の古文書から(10)「宗旨」とは？「御助者」とは？
- しんかんあんない062 (1998年5月)
- ・斎藤洋一 連載／一枚の古文書から(11)実際に「庭掃き」をしていた？
- しんかんあんない063 (1998年6月)
- ・斎藤洋一 連載／一枚の古文書から(12)肩書きのない文書
- しんかんあんない064 (1998年7月)
- ・斎藤洋一 連載／一枚の古文書から(13)

- 支配領域をこえて
- しんかんあんない065 (1998年9月)
- ・斎藤洋一 連載／一枚の古文書から「兄弟大勢」ゆえ
- しんかんあんない066 (1998年10月)
- ・斎藤洋一 連載／一枚の古文書から(15)「牢守」を選んだのは村と部落？
- しんかんあんない067 (1998年11月)
- ・斎藤洋一 連載／一枚の古文書から(16)やはり「旦那場」だった
- しんかんあんない068 (1998年12月)
- ・斎藤洋一 連載／一枚の古文書から(17)「手の指から出血し」
- しんかんあんない069 (1999年1月)
- ・斎藤洋一 連載／一枚の古文書から(18)「横になり」あいさつ
- しんかんあんない070 (1999年3月)
- ・斎藤洋一 一枚の古文書から(19)「御出役先とも存せず入湯」
- 人権教育思想研究002 (関西外国語大学人権教育思想権研究所、1999年2月)
- ・太田垣義夫 差別用語はアタラズ・サワラズでよいのか
 - ・加藤昌彦 エスペラントと西光万吉
 - ・[資料] 外国人権映画小一覽
 - ・永池健二 資料／被差別部落関係資料二種—古典文学研究の立場から
- 人権と平和ふくやま003 (1998年8月)
- ・山本真一 「自主」と融和—福島町一致協会を巡って
 - ・高倉孝二 史料を見る—検地帳
- 人権問題研究みえ001 (1998年9月)
- ・渡辺俊雄 いま、部落史がおもしろい—なぜ部落史の見直しなのか
 - ・和田 勉 部落史の見直しについて—三重県の場合
- 信州農村開発史研究所報065 (1998年7月)
- ・佐藤敬子 華道池坊門弟有祥軒
 - ・五島敏芳 飢饉における「身元有之」百姓の対応

研究所通信247 (1999年3月)

- ・政岡伸洋 国立歴史民俗博物館国際シンポジウムに参加して—被差別部落と在日コリアンのポスターセッションに参加して
- ・(事務局) 国際身分制研究会／寺木伸明 「日本における身分の研究史覚書—近世を中心として」

研究所通信031 (奈良県部落解放研究所、1998年6月)

- ・四辻正寛・宮城邦久 第三回奈良県食肉産業文化研究会の感想
- ・(K) しょひょう／『部落史がわかる』

研究所通信034 (1999年3月)

- ・中島久恵 近代成立期の部落問題研究会夏合宿

県同教だより077 (石川県同和教育研究協議会、1998年8月)

- ・角谷正人 歴史を正確に把握し、そのうえに立った同和教育を推進するために〈コ〉

高知の部落史091 (1998年8月)

- ・吉田文茂 高知県部落解放運動家群像(1)—国沢 亀

高知の部落史092 (1998年8月)

- ・吉田文茂 高知県部落解放運動家群像(2)—岡崎精郎

高知の部落史093 (1998年8月)

- ・吉田文茂 高知県部落解放運動家群像(2)統一岡崎精郎—その二

高知の部落史094 (1998年8月)

- ・山下典昭 高知県部落解放運動家群像(3)—沖八潮のこと

高知の部落史095 (1998年10月)

- ・——高知県部落解放運動家群像(4)山本正美

高知の部落史096 (1998年12月)

- ・熊沢徹郎 高知県部落解放運動家群像(5)—植村省馬

広報誌リパティ002 (1998年7月)

- ・「アイヌ民俗—ユカラの世界」
- ・「企画展／清潔の近代—コレラからO-157まで」
- ・「史料紹介／李梅溪(イメゲ)直筆書軸」

国際身分制研究会ニュースレター006 (1998年5月)

- ・柳父 章 カースト制と、キリシタン禁制・部落差別

こべる061 (1998年4月)

- ・浴口勝也 山道の楽しみ方
- ・師岡佑行 『レディ・ジョーカー』と部落問題
- ・熊谷 享 『もののけ姫』雑想

こべる062 (1998年5月)

- ・今谷 明 林屋辰三郎先生を悼む

こべる070 (1999年1月)

- ・野町 均『部落史を読む』を読む

こべる071 (1999年2月)

- ・師岡佑行 時評⑩部落史は終わったか—歴史の方法をめぐる(1)

〈サ〉

佐賀部落解放研究所紀要015 (1998年3月)

- ・山本尚友 最近の部落史研究の動向とその課題
- ・中村久子 部落史年表<享保2年(1717)から享保5年(1720)まで>
- ・中村久子 史料紹介／多久家『御屋形日記』から

雑学017 (1998年6月)

- ・朝治 武 水平社決議と初期水平社運動
- ・大安寺一 戦時下「同和」教育成立期ノート
- ・駒井忠之 全国水平社創立大会の参加者数をめぐって
- ・辻本正教 穢れと清め(3)

雑学018 (下之庄歴史研究会、1998年11月)

- ・松田量善 初瀬地方の雨乞習俗と被差別部落
- ・金井英樹 「韓国併合」小論

教線展開説明のための前提的作業

- ・山村雅史 中世奈良における河原者の一様相—「坂の穢多」を題材として
- ・吉田栄治郎 「節目」考—噂をめぐって、同化か異化か第三の途か
- ・中川みゆき 座頭祝銭に関する研究ノート—座頭と寺院の争論
- ・藤田和義 研究ノート・中世奈良における「鐘槌聖」

研究所通信235 (1998年3月)

- ・秋定嘉和 林屋辰三郎先生と私
- ・柳父 章 研究会報告〈国際身分制研究会〉／キリシタン禁制と部落差別
- ・〈文献〉原田敬一『日本近代都市史研究』
- ・〈文献〉今西 一『日本近代都市の差別と性文化』

研究所通信236 (1998年4月)

- ・山下隆章 研究会報告〈前近代・近現代史部会合同例会〉／近世讃岐における被差別民史の研究
- ・〈文献〉森田康夫『賤視の歴史的形成』
- ・〈文献〉門馬幸夫『差別と穢れの宗教研究』

研究所通信237 (1998年5月)

- ・(WT) 文献／舩松歴史資料館編『反骨の棋士 阪田三吉』
- ・(WT) 文献／竹永三男『近代日本の地域社会と部落問題』

研究所通信238 (1998年6月)

- ・(Ck) 文献／渡辺俊雄『部落史がわかる』
- ・室田卓雄 研究会報告(伝承文化部会) 政岡伸洋／部落解放研究と民俗学の課題
- ・(事務局) 研究会報告(前近代史・近現代史部会) 宇那木隆司／中世後期における東寺散所について

研究所通信240 (1998年8月)

- ・藤原 豊・小椋孝士「第5回原田伴彦賞を受賞して(続)」
- ・渡辺俊雄 研究会報告／前近代史・近現

代史部会合同例会／関口寛「初期水平運動における「政治文化」について」／三原容子「水平社運動における「アナ派」について

- ・小森田明子 研究会報告／国際身分制研究会／三宅正彦「ヨーロッパの身分差別—「賤民」差別をめぐって」

研究所通信241 (1998年9月)

- ・渡辺俊雄 文献／藤沢靖介「部落史の「見直し」の論点」(『明日を拓く』23・24号)
- ・渡辺俊雄 文献／斎藤洋一「近世村落と部落」(『明日を拓く』23・24号)
- ・「第4回全回部落史研究交流会、佐賀で開かれる」

- ・小森田明子 研究会報告／国際身分制研究会／尾本恵市「日本民族はどこから来たのか—人類史の視点から考える」

研究所通信242 (1998年10月)

- ・「創立30周年で記念シンポジウム—テーマ／世界における身分差別と部落差別」
- ・山崎元一 インドのカースト制度と被差別民—前近代を中心として

- ・鄭棟柱 朝鮮の賤民制度—近代以前の白丁を中心に
- ・寺木伸明 日本の部落差別

- ・小谷汪之 インドの近現代における被差別民—マハール・カーストを中心に
- ・鄭棟柱 朝鮮の賤民制度—近現代の白丁を中心に

- ・秋定嘉和 世界における身分差別と部落差別—近代を中心として
- ・渡辺俊雄 文献／小谷汪之「穢れ意識と賤民差別—方法的検討」

研究所通信243 (1998年10月)

- ・渡辺俊雄 文献／小野将「身分制社会論という視点」

- ・(事務局) 研究会報告／前近代史・近現代史部会合同例会／渡辺俊雄「部落史の近業を考える」

一、1999年3月)

- ・酒井 一 解放令と相撲興行(2)
- ・松原右樹 小栗街道の史跡と伝承
- ・森 雅寛 「國の光」読書会から
- ・(編集部)『郷土の歩み』発行号・原稿内容・原稿テーマ・執筆者一覧

京都部落史研究所報005 (1998年4月)

- ・左右田昌幸 部落史史料としての「写真」をめぐって

京都部落史研究所報006 (1998年7月)

- ・前川 修 写真・絵画史料を用いた部落史の紹介
- ・左右田昌幸 部落史史料としての「写真」をめぐって(2)

京都部落史研究所報007 (1998年10月)

- ・杉本弘幸 戦前期京都「不良住宅地区」の社会構造に関する試論
- ・『『野洲の部落史』執筆開始—編さん事業進捗状況と今後の予定』
- ・『『京都部落史研究所所蔵図書目録』刊行のおしらせ』

京都部落史研究所報008 (1999年1月)

- ・古川与志継 近江の太鼓づくり—湖東湖南を中心に

<ク>

グローブ013 (1998年4月) <追悼／林屋辰三郎先生>

- ・田畑茂二郎／上田正昭／平野一郎／高尾一郎／秋定嘉和／川嶋将生／山路興造

グローブ014 (1998年7月)

- ・秋定嘉和「草の根の歴史学」のむつかしさ

グローブ015 (1998年10月)

- ・西井正弘 「基本的人権」のルーツ？
- ・下坂 守 史料を「読む」
- ・平野一郎 人権の“館”／堺市立平和と人権資料館

グローブ016 (1999年1月)

- ・朝治 武 歴史的記憶の重み

<ケ>

月刊部落問題256 (1998年4月)

- ・布川 弘 賀川豊彦と「新川」(20)改善事業の展開(6)

研究会ニュース001 (福岡部落史研究会、1998年7月)

- ・「史実と授業の結合をめざしてII」研究会

研究会二ニュース002 (1998年9月)

- ・「「なぜ部落差別は残ったのか」を中心に議論—第17回九州地区部落解放史研究集会報告」

- ・「第4回全国部落史研究交流会報告」

- ・「福岡部落史研究会近代史部会報告」

研究会ニュース003 (1998年11月)

- ・「学校現場での部落史学習—県同教大会の報告・論議から」

- ・「9月定例研究会報告／戦後社会科教科書にみる部落史関係の記述」

- ・「10月定例研究会報告／現代中国文学と差別社会」

研究会ニュース004 (1998年12月)

- ・「「史実と授業の結合をめざしてII」の開催」

研究会ニュース055 (1999年1月)

- ・「第90会定例研究会報告／史料にみるケガレ観の変遷」

研究紀要004 (世界人権問題研究センター、1999年3月)

- ・川嶋将生 移行期における河原者の動向—一六世紀後半から一七世紀前半にかけて

- ・左右田昌幸 「ほうらい (蓬萊・宝来)」考

研究紀要006 (奈良県同和問題関係史料センター、1999年3月)

- ・井岡康時 大正期奈良県における水平社運動の一側面

- ・奥本武裕 盆地部大和における真宗教線の展開過程・序説—「かわた」村への

- ・好並隆司 書翰筆者へのお返事
岡山部落解放研究所報185 (1998年7月)
- ・酒井 一 備前国常福寺檀家の「改宗」
反対闘争
岡山部落解放研究所報186 (1998年8月)
- ・「第13回渋染一揆現地研修会開催」
岡山部落解放研究所報187 (1998年9月)
- ・若林義夫 「解放令」反対一揆の研究—
明治初年岡山県内身分解放反対騒擾の
考察
岡山部落解放研究所報190 (1998年12月)
- ・好並隆司 明六騒擾をめぐる人々
<カ>
解放教育370 (1998年10月)
- ・中野陸夫 部落史学習を見直す—視点
- ・寺木伸明 最近の部落史研究の動向の
一端について—峯岸賢太郎氏の所説の
紹介と批判的検討
- ・桐原健司 部落史学習の新構想—部落
史学習の新しい展開『部落史発見』を編
集して
解放教育371 (1998年11月)
- ・中川 永 「部落史の見直し」と地域の
教材化
- ・中尾健次 歴史認識を問い直すため
に／大阪の部落史(1)「皮多村」の成立
解放教育372 (1998年12月)
- ・中尾健次 歴史認識を問い直すため
に／大阪の部落史(2)大阪の城下町と渡
辺村
解放教育373 (1999年1月)
- ・中尾健次 歴史認識を問い直すため
に／大阪の部落史(3)雪駄づくりの村
解放教育374 (1999年2月)
- ・中尾健次 歴史認識を問い直すため
に／大阪の部落史(4)「解放令」とその後
解放教育375 (1999年3月)
- ・中尾健次 歴史認識を問い直すため
に／大阪の部落史(5) 生活の窮乏化—
1880年代
解放研究とつとり001 (鳥取県部落解放研
究所、1999年3月)
- ・田中真次 鳥取藩非人制度の成立
- ・鳥取県部落解放研究所「古老が語る部落
のあゆみ(1)」
- ・西村将芳 石尾芳久氏の業績
- ・新井宏則 『橋寄繁蔵排斥事件』
- ・宇田川宏 史料紹介1／藩制資料「在方
諸事捌帳」にみる部落と農業
- ・北尾素志 史料紹介2／千代川に仮橋
架設を願った人たち
- ・坂田 収 聞き書き／八頭郡のムラを
訪ねて(1)
- ・神田誠也 鳥取県同和教育研究協議会
発足の前後
- ・「文献紹介／東栄蔵「大江儀吉論—『破
戒』のモデルその実像とその研究」
- ・「文献紹介／宇田川宏「末端の治安・行
刑業務に当たった鳥取藩鉢屋」
- 解放新聞1967 (1998年4月)
- ・(亀) 今週の1冊／『部落史がわかる』
- 解放新聞1880 (1998年7月)
- ・辻本正教 理論のページ／猫皮鞣し問
題の根底を見る(1)
- 解放新聞1885 (1998年9月)
- ・辻本正教 理論のページ／猫皮鞣し問
題の根底を見る(終)
- 解放新聞1901 (1999年1月)
- ・川元洋一 (写真・橋本要) 部落の伝統
と文化／江戸時代の藩営屠場
関西大学人権問題研究室紀要037 (1998年
9月)
- ・吉田永宏 藤村『破戒』と部落問題(3)差
別性の論議をめぐって
関西大学人権問題研究室紀要038 (1998年
12月)
- ・吉田徳夫 由良地域の寺院史料の考察
—部落寺院の起源に関して
<キ>
郷土の歩み030 (和泉市立解放総合センタ

- ・石瀧豊美 部落史再入門
- ・藤田孝志 差別解消の主体者を育てる
部落史学習—「洗染一揆」の授業実践を
通して
- ・「わがまま書評／『食肉の部落史』」
- ・「わがまま書評／『もやい』」

〈オ〉

大阪人権博物館紀要002 (1998年12月)

- ・小島伸豊 「近代日本とハンセン病」
- ・太田恭治 戦前における『破戒』映画化
の試み
- ・文 公 輝 錦絵・錦絵新聞にみる朝鮮・
中国へのまなざし—江華島事件から日
清戦争まで
- ・吉村智博 農村部落における教育と地
方自治—北河内郡水本村を事例として
- ・松永真純 近代視覚「障害」者の按摩専
業運動—『盲人保護法制定ノ請願』
- ・村上紀夫 展示批評／水平社歴史館と
展示をめぐる雑感
- ・田中康顕 報告／「小林茂文庫」編集余
録

大阪の部落史通信014 (1998年6月)

- ・臼井壽光 史料紹介／『南王子村村格一
条』の広げる世界—リバティおおさか特
別展「高札」によせて
- ・里上龍平 新聞記事と部落(3)新聞が見
た明治の被差別部落
- ・八木 正 書評／『なにわの食肉文化と
ともに—大阪市中心卸売市場食肉市場
40年史』
- ・久保在久 史料紹介／法政大学大原社
研の水平運動資料
- ・松原右樹 図書紹介／『被差別部落の民
俗伝承 大阪』
- ・舩松歴史資料館 図書紹介／『反骨の棋
士阪田三吉』
- ・「企画委員会、開く」

大阪の部落史通信015 (1998年9月)

- ・渡辺俊雄 地名は大胆に、人名は慎重に

—『大阪の部落史』史料編〈現代1〉に
掲載される地名・人名について

- ・三原容子 視点／歴史の事実と評価に
ついて—アナ派水平運動史を材料とし
て
- ・朝治 武 視点／発露する部落青年の
思想的営為—南王子青年団機関誌『国の
光』の魅力
- ・森田康夫 史料紹介／堺県下における
賤民解放令後の斃牛馬処理の動向につ
いて
- ・里上龍平 新聞記事と部落(4)一種の社
会

大阪の部落史通信016 (1998年12月)

- ・寺木伸明 史料紹介／元禄一一年の大
阪渡辺村移転前後の屋敷地の状況—成
舞家文書をを手がかりとして
- ・室田卓雄 図書紹介／『新修池田市史』
第五巻 民俗編
- ・積山 洋 大阪の考古資料と部落史ノ
ート
- ・中尾健次 視点／大坂の大道芸人
- ・里上龍平 新聞資料と部落(5)明治中期
の大阪の皮革産業

大阪の部落史通信017 (1999年3月)

- ・渡辺俊雄 『大阪の部落史』第七巻〈史
料編現代1〉の紹介
- ・小林丈広 視点／歴史学と歴史学習に
ついて
- ・森田康夫 紹介／藤本清二郎「近世おん
ぼう身分と村落」
- ・里上龍平 新聞資料と部落(6)済生会の
設立と部落

岡山部落解放研究所報180 (1998年2月)

- ・寺田憲生 衡平社70周年記念等竣工
(下)

岡山部落解放研究所報181 (1998年3月)

- ・好並隆司 部落史拾遺／酒津村「穢多」
の「非人」支配

岡山部落解放研究所報183 (1998年5月)

歴史民俗学011 (1998年7月)

〈第1回歴史民俗研究会全国大会報告書〉

- ・礫川全次 大会を振り返って
- ・礫川全次 基調講演／歴史の死角と民俗学の盲点
- ・飯尾恭之 幻のサンカを考える
- ・丸山竜平 最新資料からみた邪馬台国時代の村と集団
- ・小林義孝 「歴史民俗学」からみた“あの世への思い”
- ・丸山竜平・田村 勇・礫川全次・飯尾恭之・小林義孝・桜井陸司 シンポジウム

(3) 部落問題・人権関係逐次刊行物

〈ア〉

明日を拓く028 (1999年3月)

- ・佐藤泰治 中世越後の非人
- ・藤沢靖介 研究ノート／民間宗教者・芸能民・「賤民」—舞々＝神事舞太夫と、民間宗教者統制の研究から

明日を拓く029・030 (1999年3月)

〈連続講座「今日の部落問題を考える」〉

- ・門馬幸夫 宗教と部落問題—ケガレ論を中心に
- ・松浦利貞 長吏小頭三郎右衛門の世界—古文書を通してみえてきたこと
- ・山脇史子 屠場はいま—屠場労働の現場からの報告
- ・鳥山 洋 史料紹介／神奈川県内の地方文書の非人身分関係資料について
- ・塩見鮮一郎 馬の文化史(7)ケガレと家畜

〈イ〉

石川県の被差別部落の歴史と現状 002 (1998年3月)

- ・作本信久 刊行に寄せて
- ・斎藤洋一 身分差別社会をとらえ直す
- ・角谷正人 石川の被差別部落について
- ・関原国光 北陸の被差別部落に生きて
- ・長田浩昭 能登における真宗教団の「下

ム／「歴史民俗学」にみる日常性の向う側

歴史民俗学012 (1998年10月)

- ・佐伯修・飯尾恭之・礫川金次(司会) 対談／サンカ学の現在—サンカ学の現状と課題をめぐって
- ・中島久恵 モノになる動物のからだ(3)〈ワ〉

早稲田大学大学院文学研究科紀要 043 (1998年3月)

- ・都築賢一 格技場の時間—『破戒』構成要素としての「進化論」

寺」と被差別部落

- ・棒田昌生 『金沢古蹟志』「梅澤町」を読む
- ・小島正之 石川における部落問題(2)民生委員会長差別発言事件
- ・野田龍三 教頭会問題について
- ・高名静啓 「畜霊碑」について(短報)
- ・野田龍三 文献紹介

〈ウ〉

ウインズ・風015 (福岡市同和教育研究会、1998年7月)

- ・小林丈広 近代部落史の課題
- ・仲林弘次 インタビュー／水平社歴史館完成記念

ウインズ・風016 (1998年9月)

- ・「わがまま書評／福岡市同和教育研究会編『部落史発見』」
- ・「わがまま書評／谷部落史研究会編『生きるすべ』」

ウインズ・風017 (1998年12月)

- ・迫本幸二・長岡俊光・竹森健二郎・森山沾一・県同教事務局・(司会) 松永唯道 部落史連続講座 座談会より
- ・「わがまま書評／『部落史を読む』」
- ・「わがまま書評／『脱常識の部落問題』」

ウインズ・風018 (1999年3月)

初期社会主義研究011 (1998年12月)

- ・小正路淑泰 堺利彦と部落問題—身分・性別・階級の交叉 (加筆→研究紀要033 <福岡県高等学校公民科研究会> (1999年2月)

<セ>

瀬戸内海地域史研究006 (1997年11月)

<特集/近世身分制・部落問題の研究>

- ・片岡 智 近世海村における賤民の存在形態
- ・前田正明 近世後期における皮革流通の具体像—阿波を事例として
- ・六郷 寛 広島藩における皮専売反対闘争—山県郡を事例として
- ・片岡 智 地方改良事業下における「被差別部落」観—広島県における「二つの部落」をめぐる
- ・土井作治 広島藩における近世賤民制の成立関係史料について
- ・高橋孝二 備後国金丸盗難事件取調一件

田辺市史研究011 (1999年3月)

- ・藤井寿一 史料紹介/現田辺市域十二か村村誌

<チ>

中央公論 (1998年6月)

- ・赤坂憲雄・網野善彦 対談/東北学の魅力と可能性

<ニ>

日本史研究435 (1998年11月)

- ・木下光生 近世大坂における墓所聖と葬送・諸死体処理
- ・岡本真希子 書評/松田利彦『戦前期の在日朝鮮人と参政権』
- ・部会ニュース/前田禎彦「検非違使別当と使庁—庁務の構造と変遷」

日本史研究437 (1999年1月)

- ・落合弘樹 新刊紹介/小林丈広『明治維新と京都』

日本思想史学029 (1997年9月)

<日本思想史学会大会シンポジウム>

- ・横井 清 「一期(いちご)」の認識について

日本歴史599 (1998年4月)

- ・千葉一大 近世大名の身分と格式—盛岡・南部家の場合

<フ>

福岡県地域史研究016 (1998年3月)

- ・又野 誠 近世後期福岡・博多の町方住人の労働・生活状況にみる都市社会構造の一考察—『筑紫遺愛集』の人々を素材として

<レ>

歴史学研究710 (1998年5月)

<1998年度大会報告要旨>

- ・近代史部会：近代社会とマイノリティ

歴史学研究717 (1998年11月)

- ・小谷汪之 マラーター王国における社会秩序維持システム

歴史地理教育 (1998年12月)

- ・大森久雄 読書室/『脱常識の部落問題』

歴史評論564 (1997年4月)

<歴史科学協議会創立30周年記念>

- ・小野 将 身分制社会論という視点—近世日本史研究から考える

歴史評論567 (1997年7月)

- ・片岡 智 近世海村の共同体規制—地先海面用益をめぐる個・集団・共同体

歴史評論582 (1998年10月)

- ・篠宮雄二 日本近世における職人集団と地域社会—身分論の視角から

歴史民俗学007 (1997年6月)

- ・飯尾恭之 尾張サンカの研究(1)
- ・中島久恵 屑拾いは物を生かす立派な仕事

歴史民俗学008 (1997年10月)

- ・飯尾恭之 尾張サンカの研究(2)

歴史民俗学009 (1998年2月)

- ・飯尾恭之 尾張サンカの研究(3)

- ・川元祥一 門付芸と日本の文化
- ・太田恭治 蘇る春駒
- 関西外国語大学研究論集063(1996年2月)
- ・加藤昌彦 賀川豊彦と西光万吉の出会いと乖離
- 関西外国語大学研究論集064(1996年8月)
- ・加藤昌彦 西光万吉と世界連邦運動
- 関西外国語大学研究論集065(1997年2月)
- ・加藤昌彦 ガンディーと西光万吉(上)
- 関西外国語大学研究論集066(1997年8月)
- ・加藤昌彦 ガンディーと西光万吉(下)
- 関西外国語大学研究論集067(1998年2月)
- ・加藤昌彦 西光万吉と戦後インドとの交流(上)
- 関西外国語大学研究論集068(1998年8月)
- ・加藤昌彦 西光万吉と戦後インドとの交流(中)
- <キ>
- 教員養成セミナー(1998年6月)<特集/人権教育として考える同和問題>
- ・秋定嘉和 総論/同和問題の歴史と現在
- ・門田秀夫 人権教育における同和問題の位置づけ
- <ク>
- くちくまの114(紀南文化財研究会、1999年2月)
- ・芝 英一 近世田辺の善根宿一主として鉢坊の所在をめぐって
- 熊野史研究046(1998年9月)(熊野歴史博物館設立準備室)
- ・藤井寿一 神事祭礼と被差別民
- 熊野史研究047(1998年12月)
- ・藤井寿一 神事祭礼と被差別民・補遺(1)
- 熊野史研究048(1999年3月)
- ・藤井寿一 神事祭礼と被差別民・補遺(2)
- <ケ>
- 芸能史研究141(1998年)
- ・河内将芳 十六世紀京都の風流踊にみえる二人の人物像について—初期洛中

- 洛外図を中心に
- ・宮本圭造 貴志猿学考
- ・村上紀夫 常磐散所小考
- ・山路興造 舞々考—地方の舞々を中心に
- 芸能史研究142(1998年)
- ・岩崎佳枝 資料紹介/漢詩文面讃職人尽絵貼交屏風
- 現代思想 027-2<部落民とは誰か>(1999年2月)
- <部落史に関する主な論文は、以下の通り>
- ・渡辺俊雄 インタビュー/部落史の転換
- ・畑中敏之 「部落史」の陥穽—「部落問題は歴史に起因する」のか
- ・藤野 豊 部落問題における結婚忌避
- ・小林丈広 「特殊部落」認識における構造と主体
- ・友常 勉 美作血税一揆と<差別>の語り
- ・河 明 生 被差別部落民と在日韓人
- ・朝治 武 歴史的記憶としての「水平社宣言」
- ・ひろたまさき 日本における差別史研究の諸問題
- <サ>
- 堺研究027(堺市立中央図書館)(1999年3月)
- ・福島雅蔵 天保三年一橋家領地「和泉国大鳥郡村々様子大概書」について(2)
- ・北崎豊二 市制施行直後の堺市議会選挙と市会(3)
- 産業研究所報002(奈良産業大学、1999年3月)
- ・桐村彰郎 大和同志会の結成と活動—水平社創立時を中心に
- <シ>
- 紙魚024(駿河古文書会)(1998年4月)
- ・小和田哲男 戦国大名今川氏の皮役

- 全四国水平社の軌跡〔三好昭一郎先生古稀記念論集 社会と信仰—阿波の視点から〕(1999年1月)
- 松浦憲二 長州マイノリティ奮戦記—山口県部落解放運動私史(1998年7月)
- 松尾剛次 中世の都市と非人 法蔵館(1998年12月)
- 〈ミ〉
- 三橋 修 明治のセクシュアリティ—差別の心性史 日本エディタースクール出版部(1999年2月)
- 三宅都子 食肉・皮革・太鼓の授業—人権教育の内容と方法 解放出版社(1998年12月)
- 〈モ〉
- 森栗茂一 民俗社会と差別〔小松和彦・香月洋一郎編 身体と心性の民俗〈講座日本の民俗学2〉 雄山閣出版〕(1998年1月)
- 森栗茂一 池田市の民俗の特色〔新修池田市史第五巻〈民俗編〉池田市〕(1998年3月)
- 〈ヤ〉
- 安岡憲彦 草間八十雄〈シリーズ福祉に生きる2〉 大空社(1998年12月)
- 八幡浜部落史研究会編 部落史研究報告書1号(1998年8月)
- ・水本正人 栗野浦の大山祇神社とその背景
- 山本英二 慶安御触書成立試論 日本エディタースクール出版部(1999年2月)
- 山本ひろ子 中世神話〈岩波新書593〉岩波書店(1998年12月)
- 山本義孝 民間陰陽師の村 笠原院内—南区の歴史を顧みる 部落解放同盟静岡県連合会(1998年1月)
- 〈ヨ〉
- 吉崎愛子 疾風の如く—大賀正行と六人の同志たち 長征社(1998年7月)
- 吉田伸之 近世都市社会の身分構造 東京大学出版会(1998年5月)
- 吉田正信 信濃同仁会青年連盟の少年団活動について(1998年3月)
- 吉田光男 朝鮮の身分と社会集団〔東アジア・東南アジア伝統社会の形成〈岩波講座 世界歴史13〉〕(1998年8月)
- 〈ワ〉
- 和歌山県同和委員会編 和歌山県同和運動史 通史編(1998年3月)
- 脇田晴子 一遍聖絵・遊行上人縁起絵と被差別民〔一遍聖絵を読み解く—動きだす静止画像 吉川弘文館〕(1999年1月)
- 渡辺俊雄 部落史がわかる—一部落史との新しい出会いを求めて〔九州地区県同教連絡協議会ほか編 第25回九州地区同和教育夏期講座報告書〕(1999年2月)
- 渡辺俊雄 部落史がわかる 解放出版社(1998年4月)
- 渡辺尚志 近世村落の特質と展開 校倉書房(1998年12月)

(2) 逐次刊行物

- 〈ウ〉
- 宇都宮大学紀要〈教育学部〉48—1 (1998年)
- ・小泉義之 中世身分制研究の批判的研究
- 〈オ〉
- 大阪の歴史 増刊号(1998年9月)
- ・佐賀 朝 大阪市の不良住宅改良事業について
- ・藤田 実 大坂の捕方手先と近代化—奥田弁次郎と長堀橋筋署事件
- 〈カ〉
- 金沢経済大学経済研究所年報007(1997年)
- ・鈴木宗憲 加賀藩の被差別民—その名称についての一試論 上方芸能128(1998年1月)

- 日新記聞〈奈良県同和問題関係史料第五集〉(1999年3月)
- 〈ニ〉
- 西岡陽子 被差別部落の民俗研究に向けて 民俗の思想〈現代民俗学の視点3〉〔宮田 登編 朝倉書店〕(1998年4月)
- 西川麦子 ある近代産婆の物語—能登・竹島みいの語りより 桂書房 1997年
- 西木浩一 近世「賤民」身分の女性をめぐる 〔総合女性史研究会編 女性史の視座 吉川弘文館〕(1997年7月)
- 〈ノ〉
- ノーマン、E・H (加藤周一監修／中野利子編訳) 日本占領の記録—1946～48 人文書院 (1997年10月)
- のびしょうじ 食肉の部落史 明石書店 (1998年11月)
- 〈ハ〉
- 畠中暁子 明治・大正期の天皇制下の社会体制の機関と人権に関する一考察—大阪府方面委員制度と末端警察の活動を焦点として (1995年3月)
- 畑中敏之 雪踏をめぐる人びと—近世はきもの風俗史 かもがわ出版(1998年7月)
- 〈ヒ〉
- ひろたまさき 差別の視線—近代日本の意識構造 吉川弘文館 (1998年12月)
- 〈フ〉
- 福岡市同和教育研究会編 部落史発見—部落史学習の新しい発展(1998年4月)
- 福岡市同和教育研究会編 部落史発見—部落史学習の新しい展開〈第2版〉(1999年1月)
- 藤田敬一・師岡佑行編 部落史を読む 阿咩社 (1998年8月)
- ・網野善彦+藤田敬一+師岡佑行 歴史の中に自然と人間の営みを考える
 - ・井上清+藤田敬一+師岡佑行 過去と対話する豊かな感性を
- ・網野善彦 日本中世における聖別と賤視の諸相
 - ・横井 清 誕生から葬送へ
 - ・藤田敬一 体験的部落史像の検証から
- 藤野 豊 日本ファシズムと優生思想 かもがわ出版 (1998年4月)
- 部落解放研究所編 明日への挑戦—部落解放研究所から部落解放・人権研究所へ30年の歩み (1998年9月)
- 部落解放・人権研究所編 部落問題と日本 占領文書研究ニュースNo.1～No.33 (合本) (1999年3月)
- 部落解放・人権研究所編 続・部落史の再発見 解放出版社 (1999年3月)
- 部落解放同盟大阪府連合会飛鳥支部編 わが町飛鳥—部落解放同盟飛鳥支部再建30周年記念誌 (1998年10月)
- 部落問題研究所編 戦後部落問題論集 第4巻 (歴史研究1—前近代) (同前) (1998年10月)
- ・脇田 修 解説／中世・近世における部落問題の歴史的研究—一九五〇年代から七〇年代を中心に
- 部落問題研究所編 戦後部落問題論集 第5巻 (歴史研究1—近代) (同前) (1999年3月)
- ・竹永三男 解説／近現代における部落問題の歴史的研究
- 〈ヘ〉
- 舩松歴史資料館編 風—人権文化サンサクまっぶ (1999年3月)
- 〈ホ〉
- 保立道久 物語の中世—神話・説話・民話の歴史学 東京大学出版会 (1998年11月)
- 〈マ〉
- 増田 弘 公職追放論 岩波書店 (1998年5月)
- 増田智一 四国の初期水平運動の社会思想史的研究—四国各県の水平社創立と

- 全国部落史研究交流会編 近代の都市のあり方と部落問題〈部落史研究2〉解放出版社(1998年8月)
- ・宇田川宏 末端の治安・行刑業務に当たった鳥取藩鉢屋
 - ・中村久子 多様な被差別民の世界—佐賀藩の芸能民を中心に
 - ・原田敬一 一八八六年の都市プラン—コレラ・内務省・文明
 - ・友常 勉 明治前期部落問題の言説について
 - ・——「近世賤民制と地域社会—岸和田藩領麻生嶋村を中心に
- 〈タ〉
- 高木博志 近代天皇制の文化史的研究 校倉書房(1997年2月)
- 滝尾英二編 日本・朝鮮ハンセン病史・考〈東アジアにおける「人権の歴史」資料シリーズ第4輯〉人権図書館・広島青丘文庫(1999年1月)
- 滝尾英二編 日本・朝鮮ハンセン病史・考【図録・解説編】〈東アジアにおける「人権の歴史」資料シリーズ第5輯〉人権図書館・広島青丘文庫(1999年1月)
- 竹永三男 近代日本の地域社会と部落問題 部落問題研究所(1998年4月)
- 谷部落史研究会編 生きるすべ 海鳥社(1998年8月)
- 〈ト〉
- 東京都教育庁生涯学習部振興計画課編 東京の部落史に関する研究III(1998年3月)
- 東上高志 現在、部落問題とは—一部落問題研究所50年の歴史 部落問題研究所(1998年9月)
- 同和教育振興会編 信心の社会性〈仲尾俊博先生追悼論文集〉(1998年3月)
- 〈主な収録論文は以下の通り〉
- ・泉 恵機 高木顕明と部落差別問題(2)「復命書」をもとにして
 - ・小笠原正仁「部落起源論」メモ
 - ・岡橋聖舟 差別事象の底にあるものケガレ
 - ・加藤昌彦 『同愛』誌とガンジー
 - ・川本治雄 社会「啓発」における部落史学習の現状と問題点
 - ・杉本昭典 本願寺末寺—播磨国穢寺帳
 - ・谷口勝巳 近江国皮田村医師「臯月秀見」初論
 - ・藤 泰澄 親鸞の平等観—「被救済の資格としての十万衆生輪」
 - ・毛利勝典 真宗僧侶の融和主義的傾向について—その歴史と現状
- 徳永高志 芝居小屋の二十世紀 雄山閣出版(1999年1月)
- 栃木県連・栃木県連女性部編 被差別部落の民俗—北関東—農村の事例(1998年2月)
- 〈ナ〉
- 内務省史研究会編 内務省と国民 文献出版(1998年5月)〈部落史関係の論文は、以下の通り〉
- ・藤野 豊 民族衛生政策の成立—厚生省設置への道
 - ・黒川みどり 第一次世界大戦後の支配思想—田子—反民における自治・デモクラシー・社会連帯
- 中 久郎編著 米田庄太郎の社会学 いなほ書房(1998年6月)
- 中野輝行 労働・職業・差別〈インド・カースト制度研究ノートII〉(1998年6月)
- 中村拓三編著 資料集成・小さな同志—日本におけるピオニール運動その全貌II—V 人権教育研究所(1998年3月)
- 中山英一 被差別部落の暮らしから〈朝日選書606〉朝日新聞社(1998年7月)
- 奈良県教育委員会編 米田庄太郎—一人と思想〈平成十年度テーマ展〉(1998年6月)
- 奈良県立同和问题関係史料センター編

- ・吉田栄治郎 見直された部落史から一解放の方向として
 - ・朝治 武 部落問題認識の現在
京都府立高等学校同和教育研究会編
1998年度 高校同和教育資料集—高等学校の同和教育をすすめるために 第35集 (1999年3月)
 - ・渡辺俊雄 いま、部落史がおもしろい
 - ・住本健次 部落の歴史をどう学ぶのか
 - ・安田直人 日本籍朝鮮人とダブルの現状
 - ・仲林弘次 部落史観の転換
 - ・鍋島祥郎 学校のたそがれ、学びの夜明け
- <ク>
- 久保井規夫 戦争と差別と日本民衆の歴史 明石書店 (1998年10月)
- 黒田伊彦 部落史紀行 つげ書房新社 (1998年12月)
- <ケ>
- ケネディ、ミエ (Mie Kennedy) The Limit of Liberal Democracy—Hisabetsu-brakumin and the U.S. Occupation Spring, 1998)
- <コ>
- 高知県部落史研究会編 人権かくとくの歩み—土佐藩の民衆支配 (同前) (1998年)
- 高知市立自由民権記念館編 岡崎精郎の生涯 (同前) (1999年3月)
- 国際身分制研究会編 国際身分制研究会 中間報告書 部落解放研究所 (1998年3月)
- 小路田泰直 国民<喪失>の近代 吉川弘文館 (1998年12月)
- 小林淳一 川原慶賀筆『人物面帳』—シーボルトの「まなざし」とともに〔ヨーゼフ・クライナー編著 黄昏のトクガワ・ジャパン—シーボルト父子の見た日本<NHK ブックス>〕 (1998年10月)

- <サ>
- 佐賀 朝 1920年代の「不良住宅」地区住民の生活と立ち退き問題〔広川禎秀編 近代大阪の行政・社会・経済 青木書店〕 (1998年2月)
- 桜井 厚ほか もうひとつの近江文化—部落生活文化史調査研究 滋賀県教育委員会 (1997年3月)
- <シ>
- 塩見鮮一郎 江戸東京を歩く—宿場 厚徳社 (1998年6月)
- 塩見鮮一郎 増補新版 資料浅草弾左衛門 三一書房 (1998年7月)
- 滋賀県教育委員会編 牛のわらじ—もうひとつの近江文化① (1998年3月)
- 滋賀県水田町立歴史民俗資料館編 宇川 共有文書調査報告書 上 (1996年3月) 下 (1997年7月)
- 芝村篤樹 日本近代都市の成立—1920・30年代の大阪 松籟社 (1998年12月)
- 城間哲雄 (城間哲雄遺稿・回想集刊行委員会編) 城間哲雄部落解放史論集 (1998年11月)
- 城間哲雄遺稿・回想集刊行委員会編 過激にして愛嬌あり 城間哲雄 (1998年11月)
- <ス>
- 水平社博物館編 水平社博物館展示総合図録 (同前) (1999年3月)
- 杉原 達 越境する民—近代大阪の朝鮮人史研究 新幹社 (1998年9月)
- 住井すゑ・福田雅子「橋のない川」を読む 解放出版社 (1999年3月)
- 住本健次・板倉聖宣 差別と迷信—被差別部落の歴史<社会の科学入門シリーズ> 仮説社 (1998年4月)
- <セ>
- 世界人権問題研究センター編 (上田正昭監修) 京都人権歴史紀行 人文書院 (1998年11月)

- ・森田 彦 奈良朝初期における和同開珎の性格
- ・吉田徳夫 室町幕府の対外観念と神国意識
- 大阪大学文学部日本史研究室編 近世近代の地域と権力 清文堂(1998年12月)
〈主な収録論文は、以下の通り〉
- ・畑中敏之 千利休と雪踏—雪踏の起源をめぐって
- ・藪田 貫 地域社会と性—国訴の視点から
- ・服部 敬 明治七年堺県「一村限取調帳」について
- ・能川泰治 日露戦後の都市民衆騒擾と社会主義・対外硬
- ・脇田 修 被差別民の家意識から
- 大野甚追悼編集委員会編 道、半ばでも島本勝巳(1998年4月)
- 沖浦和光 島に生きる—瀬戸内海民と被差別部落の歴史 広島県豊町(1998年3月)
- 沖浦和光 瀬戸内の民俗誌〈岩波新書569〉 岩波書店(1998年7月)
- 荻原栄吉 練馬に生きて—私が経験した部落の生活・差別・解放運動 練馬人権センター(1998年5月)
- 小沢昭一 ものがたり—芸能と社会 白水社(1998年11月)
〈カ〉
- 香川県同和教育研究協議会編 ふるさとに学ぶ—やさしさ・たくましさ(1998年7月)
- ・「歴史／高松藩に見る身分秩序と芸能」
- 鹿野政直 歴史を学ぶこと〈岩波高校生セミナー1〉 岩波書店(1998年4月)
- 鎌田 慧 ドキュメント屠場 岩波書店(1998年6月)
- 川口正志 人は尊し—私の人権史 奈良県部落解放研究所(1999年1月)
- 河田光夫 歎異抄を読む 明石書店(1998年9月)
- 川元祥一 旅芸人のフォークロア〈人間選書214〉 農文協(1998年3月)
- 刊行委員会編 山本正美裁判関係記録・論文集—真説「三十二年テーゼ」前後 新泉社(1998年6月)
〈キ〉
- 基幹運動本部事務局編 習俗—戯れ〈ブックレット8〉 本願寺出版社(1999年3月)
- 木津 譲 現代の「戯れ・清め」考—何が、どう穢れているのか(1999年3月)
- 京都市・柳原銀行記念資料館運営協議会編 柳原銀行と明石民蔵—よみがえった柳原銀行と活気あふれるその時代(1997年11月)
- 京都市・柳原銀行記念資料館運営協議会編 崇仁の軌跡をたどって—六条村から柳原町、そしてこれからの崇仁(1998年3月)
- 京都部落史研究所編 部落史をどのように教えるか／シンポジウム—教育・啓発における部落史の再検討(1998年7月)
- 京都府立城陽高等学校編 被差別部落の歴史—新しい部落史の見方・考え方(1998年3月)
- 京都府立城陽高等学校編 講演集／新しい部落史の見方・考え方(1999年3月)
〈収録論文は、以下の通り〉
- ・吉田栄治郎 部落史の見直しと教育内容の創造
- ・上野 茂 ケガレ意識と異能喪者集団
- ・金井英樹 部落史観の転換と解放への展望
- ・渡辺俊雄 いま、部落史がおもしろい
- ・上杉 聰 部落史がかわる
- ・住本健次 部落の歴史をどう学ぶのか
- 京都府立高等学校同和教育研究会編 1997年度 高校同和教育資料集—高等学校の同和教育をすすめるために 第34集(1998年3月)

資料

部落史関係文献目録

(1998年4月～1999年3月)

1. 本目録は、概ね1998年4月から1999年3月の間に発表された部落史関係の著作・論文を対象に収録し、それ以前の文献を若干補った。
2. 全体を(1)単行本・冊子、(2)逐次刊行物、(3)部落問題・人権関係逐次刊行物に分類した。
3. (1)は編著者の、(2)(3)は逐次刊行物名の50音順に配列した。
4. 本目録は、部落解放・人権研究所が基礎になるデータを収集して一覧を作成し、さらに各地研究所(研究会)がこれを補充するという、共同作業の成果である。

(1) 単行本・冊子

〈ア〉

青木孝寿 部落問題の歴史と運動 長野
県部落問題研究会 (1998年)

秋定嘉和 同和問題〔上田正昭編 国際化
のなかの人権問題 明石書店〕(1998年
12月)

朝治武・灘本昌久・畑中敏之編 脱常識の
部落問題 かもがわ出版(1998年5月)

阿南重幸 時間を歩く一長崎の部落史を
訪ねて 長崎県同和教育研究協議会
(1998年7月)

網野善彦・宮田登 歴史の中で語られてこ
なかつたこと一おんな・子供・老人から
の「日本史」 洋泉社(1998年11月)

〈イ〉

池田士郎・岩本孝樹・藤本信隆 宗教と部
落問題 奈良県部落解放研究所(1998年
7月)

今西 一 近代国民国家形成のなかで抑
圧されていった「周縁」の民衆〔幕末学
のみかたくアエラムック36〕朝日新聞社〕
(1998年4月)

〈ウ〉

上野利三 近代日本騒擾裁判史の研究
多賀出版(1998年2月)

臼井寿光編 中央融和事業協会刊行史料
一覧一第一次リスト(1999年1月)

〈オ〉

大阪人権博物館編 高札一支配と自治の
最前線(1998年4月)

・朝治 武 高札の考察一展示をみるた
めに

・小島道裕 中世の高札

・吉村智博 高札の管理と補修

・山本尚友 三条大橋西詰高札場

・のびしょうじ 高札と被差別民

大阪人権博物館編 大阪人権博物館年報
7号(1998年7月)

大阪人権博物館編 ふれあいリパティ3
号(1998年7月)

大阪人権博物館編 清潔と健康の近代一
コレラからO・157まで(1998年8月)

大阪人権博物館編 色に出にけり一身分
と差別(1998年10月)

・仲間恵子 展示をみるために色に出に
けり一身分と差別

・村上紀夫 大和国「青屋」考

・仲間恵子 色衣を捨て、黒衣にうつる時
一僧侶の水平運動・黒衣同盟

・高橋泰世 「色盲」「色弱」は病弱ではな
く個性なのです

大阪大学文学部日本史研究室編 古代中
世の社会と国家 清文堂(1998年12月)

〈主な収録論文は、以下の通り〉